

http://www.minamih.net/



由井三小も私が勤務している学校も5月28日が運動会です。5月28日は練習も試合もありません。さて、運動会の練習等で何かと落ち着かず、忙しい中、学習もしっかり取り組まなくてはなりません。今年3年生の算数、4年生の理科、1年生と6年生の図書を担当していますが、実感するのは
 “文を文として読む力”
 “文を速く正確に書き写す力”
 “話す人の目を見て、心と耳で聴く”
 が基本中の基本として必要だということです。上の2つは、音読と全文視写で力がつきます。聴く力は、お家の人がお子さんの目をしっかり見て共感的にお話しを聴いてあげることによって培われます。最初が肝心です。

b y 矢上

11・5・15(日)
南NEWS NO13

第5回 春季カップ戦 3年生 5月3日 高嶺小

○南八王子1-7東八王子 前半0-3

得点 小松君

○ちーむのめあて

①全員攻撃・全員守備

②ドリブルからのフェイント

③シュート以外はボールを蹴らない

○めあての達成度

全員攻撃・全員守備、ドリブル日徹底は全員意識を持って試合をしていました。



○コーチ所見
 東八王子の攻撃はドリブルからパスをピッチ全面を使ってくる試合運びでしたので、相手がパスをする前のボールへの寄りができればと感じました。しかし、南の子どもたちの全員攻撃・全員守備に徹底し、GAMBAる姿は、私達コーチ・応援のお家のみなさんに感動的にしっかりと伝わってきました。
 試合後に、“試合で負けて悔しい顔とこの試合を全力で戦いきったという顔”、この2つの顔を見て、これからこの子ども達はどんどん上達して強くなっていくと感じました。

b y 岩田知コーチ

根っこを育てる

里山でしいたけを作る時、村人は原木にするクヌギを順々に切っていくそうです。やがて季節がめぐると切り倒されたクヌギの株から若々しい芽・ひこばえが出て再び成長します。クヌギは切り倒されても根っこはしっかりと生きているのです。

人にも根はあります。何度踏み倒されてもやがて芽を出し成長する根っこがあるのです。その根っこを丈夫に育てるところはまず家庭です。家庭が、子どもを社会的な存在として躡る社会化の機能、安心感・自己有用感・自尊の感情を育む癒しと安定化の機能を果たすことにより、人として育つための根っこが元気で丈夫なものになるのです。他を思いやる優しさとやらなければいけないことをやりぬく強さを育み社会的な自立を促すのです。

b y 南のアンパンマン



宣言 四つの絶対許さない！！

一 暴力は許さない

二 いじめは許さない

三 GAMBAっている子の気持ちをくじくようなことを言ったり、することは許さない

四 授業の邪魔をすることは許さない

退職後、あってはならない状況にある学級の臨時担任を突然依頼され、クラスの子どもの前に立ったときに開口一番、宣言したものです。この宣言、四つの絶対許さないは、永年の担任時代、子どもたちに言い続けてきたものです。

南の子どもたちに対しても同じです。サッカーを楽しむ中で、仲間の大切さ、仲間を思いやることの大切さ、協力してGAMBAることの大切さ、ルールを守ることの大切さを学んでいるはずで、それを学校生活に活かしてほしいと心から願っています。四つのうち一つでもしている子はいないと信じたいのです。

優しく強い子であってほしいと願っています。自分の利益しか考えない人間にはなってほしくないですね。

今の世相が教えてくれています。他を思いやる優しさ、生きとし生けるもの全てとの共生なくしては人類の未来はない、一人勝ちということはありません。

b y 南のアンパンマン

漢字部首歌留多

漢字が書けない、読めないと、文を書いたり読んだりができず、コミュニケーションもできなくなります。読書もできません。本嫌い、低学力になりがちです。

そこで、子ども達に少しでも漢字に慣れ親しんでもらいたいと考え、漢字部首歌留多をみんなに配ります。90の漢字の部首が遊びながら覚えられるようになっています。歌留多の取り札も後になります。ぜひお家でもみんなが歌留多を楽しんでみてください。

合宿とか納め会で学年別歌留多大会をして、入賞者には何かをプレゼントするというのも考えています。

漢字学習を嫌う子が多いのですが、漢字辞典作りもあわせて取り組めば、漢字をより楽しく学び、漢字力をしっかりと自分のものにすることができます。